



夢風

YUMEKAZE

第132号（令和3年度 No.4）



みなさん、夢風ようこそ。

令和3年度も後半を迎え、1、2年生は科目選択、3年生は就職試験など進路に向けての動きが進んでいます。今号では、夏休み中の活動を紹介します。



「夢風」はWeb ページでも発信しています。 <http://www.toyotahigashi-h.aichi-c.ed.jp>



ニュース

News



● 中学生一日体験入学

8月6日（金）実施の中学生一日体験入学には、約940名の参加がありました。今年度は午前と午後の2回に分けて実施しました。

まず、各ホームルーム教室で全体説明、2年生による「産業社会と人間」の体験授業を行いました。プレゼンターとアシスタントの2人1組で教科「産業社会と人間」の1年間の流れ、1年時に作成した「ライフプラン」、「東高の1日」を紹介しました。

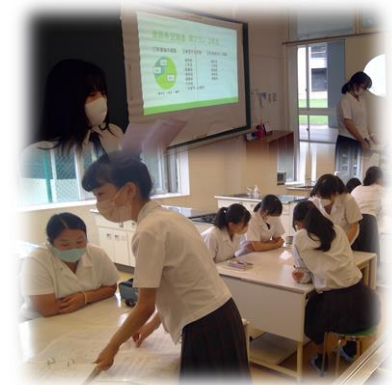
「東高クイズ」を準備したり、普段授業で使っている教科書を持参したりすることで、中学生が分かりやすいように創意工夫しているのが印象的でした。

各教室での説明が終わると、校内および部活動を見学する時間になりました。生徒会が中心となり、ウォークラリーを実施し、多くの中学生が校内を見学していました。中学生からは「説明やスピーチが聞き取りやすく、わかりやすくてとても楽しかった」との声が聞かれました。



● プラン別説明会

8月19日（木）学年出校日に、3年生が1年生にプラン別説明会を行いました。3年生の各プランの代表生徒が、自分が所属しているプランの特徴や現状を、要点をまとめたスライドや授業で取り組んだ成果物を用いて、1年生に分かりやすく説明しました。1年生にとって、興味のあるプランの実際の雰囲気などを知ることができるよい機会となり、真剣な面持ちで3年生の説明を聴いていました。



● 地域連携事業・「第1回東高まつり」

7月24日（土）、スマイリングキッチンラボ（豊田市美里）で、JRC部と科学部の生徒が「第1回東高まつり」を行いました。今年度からの新たな地域連携先であるスマイリングが所有する施設をお借りして、来店した子どもたちに間違い探し・射的・絵合わせ・型抜き・化石レプリカ作りを楽しんでもらい、スタンプを集めると駄菓子をプレゼントするという企画を実施しました。

開店後すぐに大勢の子どもたちが来てくれて、にぎやかな東高まつりになりました。浴衣姿で来てくれた子どもたちもいて、本当の夏祭りのようでした。JRC部・科学部ともに自分たちでゼロから企画した活動でしたが、部員からは「子どもたちがありがとうございました」「自分が誰かの『楽しい』に関わることができてよかったです」「スムーズな運営のしかたなど、普段はあまり考えることのないことを考えるよい機会になりました」などの感想が聞かれました。

次の東高まつりは12月を予定しています。今回の経験を生かし、さらに充実した活動にしてくれることを期待します。



● 豊田市こども発達センターボランティア・交流活動

夏季休業中、豊田市こども発達センター（豊田市西山町）内の「こども広場」でのボランティア・交流活動を14日間実施し、保育・福祉・看護の進路を希望する3年生41名が参加しました。

「こども広場」は、センターに通園する子どもの兄弟姉妹の託児の場です。当日は、0歳から3歳ぐらいの子どもたちとおもちゃで遊んだり、おやつのお話やおむつ交換をしたりと、普段はできない体験をすることができました。

参加生徒からは、「一緒に遊ぶだけでなく、常に周りを見て、けがを防ぐことを第一に考えることが、どれほど大切かを実感しました」「子どもたちの笑顔が見られたり、お迎えに来たお母さん方からありがとうと言ってもらえたり、短い時間でしたがとてもやりがいを感じました」「発達センターには医療の専門の方もいらっしゃって、看護師の活躍する場は大きな病院だけではないと知り、視野が広がりました」などの感想があり、貴重な学びの機会とすることができました。

また、昨年度この活動に参加した卒業生も、大学の夏休みを利用してボランティアに訪れていました。このコロナ禍でも、本校の生徒の活動を受け入れてくださった発達センターのみなさまに、あらためてお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

